

Ryu's Paper

リュウズ ペーパー

龍華図書館

2024年3月1日

3月号(隔月発行)

Vol.39

寒さが和らぎ、ぽかぽかと暖かい日が増えてきました。春の訪れを感じて虫や動物たちも目覚める頃ですね。さて今回の『図書館でめぐる郷土～八尾市史編～』のテーマは『こどもたちの遊びと暮らし』です。川や森林など市域の豊かな自然の中には、こどもたちの遊び場がありました。戦後の高度経済成長期に、市域で生活していたこどもたちの「遊び」を通して当時の暮らしとまちの様子を見ていきましょう。

シリーズ
図書館でめぐる郷土
～八尾市史編～

第三十九回

『こどもたちの遊びと暮らし』

明治・大正時代には長瀬川・神武川をはじめとする野原の各河川のほとりに、フナ、モロコ、ドジョウ、ウナギ、ナマズ等があり、大正のはじめ頃までは川ガニも取れたようです。しかし、戦後に河川が汚れ、魚たちの姿を見かけることはなくなっていきました。また、許麻神社をはじめとする市域の神社や寺院には大木が数多くあり、昆虫をとるのに格好の場所も至る所にあっただろうです。市域のこどもたちの遊び場は、この豊かな自然の中にもありました。こどもたちは川の中に石を積んで水を止め、三角網で小魚をとったり、モンドリ網でエビをとるなどしました。本町橋の南にクロハシという小さな橋があり、こどもたちはそこを渡って対岸に遊びに行っていたといいます。

昭和30年から南河内郡志紀村で幼少期を過ごした方の記録によると、春には小さな溝でメダカをすくい、春から夏にかけてチョウ、トンボ、セミ等をとった。魚とりではフナ、エビガニ、ナマズ、コイがとれ、業者がレンコンをとるために池の水を抜いたときのドロコ遊びが楽しかったが、魚とりや虫とりもお盆の頃に「殺生はするな」と言われ出来なくなり、時間つぶしに将棋を差し、宿題を終えたら中央公園(現在の志紀ふれあいの森辺り)に集まって野球をした。寒くなると缶けりや縄とび、ドッジボール、こまを手に乗せて鬼ごっこ等をして遊んだと記しています。

戦後の高度経済成長期には、まだ各地区の店の数が少なく、入手できる商品が限られていたため「行商」がこれを補っていました。中でも、こどもたちにとって紙芝居屋やアイスキャンデーの行商は待ち遠しい存在でした。恩智では紙芝居屋が天王の森や道沿いの鳥居などによく来たといいます。こどもたちは、練り飴、すこんぶ、えびせんなどをかうと紙芝居を見ることができました。紙芝居を見たという記憶は、山手の大竹、干塚、恩智から平野部の刑部、天王寺屋新田、田井中、沼、南木の本、木の本などまで広い地域で確認されています。恩智では自転車わらび餅やアイスキャンデーが売られたり、弓削では祭りの時に一銭焼きというメリケン粉と干しエビや青のりを混ぜたクレープのようなものも売られていたそうです。

戦後の産業復興や住宅建設、工場立地、河川や交通網の整備など、機能重視の都市づくりが進められ、次第に魚とりや虫とりをして遊んだり、紙芝居屋を待つこどもたちの姿を見かけることはなくなりました。しかし近年、文化や歴史、美しい景観を大切にしようとする動きに変わり、八尾の美しい景観を保全・育成し次世代に継承していくための取り組みが行われています。

【右写真】長瀬川源流 二俣

八尾市観光協会データベースより



参考資料

『河内どんこう No.42』1994年6月 やお文化協会/発行 『河内どんこう No.100』2013年6月 やお文化協会/発行

『八尾市都市景観形成基本計画』2017年12月 八尾市都市整備部都市政策課/編

『新版八尾市史 民俗編』2019年3月 市史編纂委員会/編

八尾市観光協会データベース>> <http://www.yaomania.jp/data/index.asp> (2024年2月5日確認)

3月のTopics & Information



-Topics

電子図書館新刊案内



『お金を「貯める・増やす・守る」がマルっとわかる
知恵子のマネ活大全』

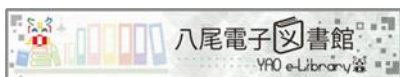


新 NISA、ポイ活、保険、サブスク…。知らないと損するお金の制度などが丸わかり! お金が貯まるツールから、固定費の見直し、投資まで、インスタで話題の「お金の知恵子」のお金のテクニックを紹介する。

【出典: TRCMARC より】

※印刷本の情報を記載している場合があります。

八尾電子図書館は、八尾市在住・在勤・在学で八尾市立図書館のカードをお持ちの方はどなたでもお使いいただけます。貸出は1人3点、貸出期間は2週間までです。是非、ご利用ください。



【電子図書館 URL】

<https://www.d-library.jp/yao/g0101/top/>

-Information イベントのご案内

楽しくわかる終活講座

八光殿から講師の方をお招きして、
終活の始め方などについてお話いただきます。



●日時…2024年3月23日(土)

13:30~14:50

●場所…龍華コミセン3階 集会室

●対象…18歳以上

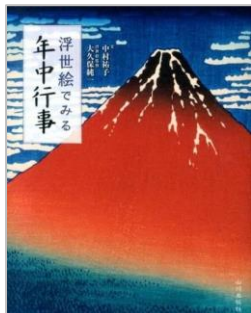
●定員…35人(申込順)

●申込…2024年3月2日(土) 9:00~

龍華図書館カウンター、電話、FAXにて受付。



今月の一冊はコレ!



「浮世絵でみる年中行事」

(資料コード: 710201146)

文: 中村祐子 浮世絵監修: 大久保純一 / 出版: 山川出版社

3月といえばひな祭り。「桃の節句」または「上巳の節句」とも言われます。七草・端午・七夕などと並ぶ五節句のひとつで、桃は魔除けとしての効果を持つとされています。年中行事はそのほかにもたくさんありますが、現在に伝わるしきたりにはどんな由来があったのでしょうか。なかには時代が進むにつれ、すでに失われてしまったものや簡略化されてしまったものもあります。旧暦1~12月までの行事を解説とともに色鮮やかな浮世絵で紹介した日本の美意識あふれる一冊です。是非、ご覧ください。

編集・発行

八尾市立龍華図書館 指定管理者 株式会社図書館流通センター

〒581-0056 大阪府八尾市南太子堂 2-1-45
TEL 072-922-8007 FAX 072-922-7057
ホームページ <https://yao-ryugelib.jp/>

Facebook

情報発信をしていますので、
いいね! してください。

